

初の「里浜条例」成立

夢広げる西海岸のイノー

港川発の地域作り活動が、ついに市行政を動かし新たな浦添市のまちづくりに発展できそうです。20日の市議会本会議で「里浜条例」が全会一致で可決成立しました。県内の浜辺は埋立やリゾート化の中で、日常生活からは遠い存在となってきました。里浜とは一市民が普段の生活の中で自由に利活用できる海浜。だが「自由」だけではせっかく残した自然のイノーが瞬く間に荒さねかねません。活用と共に保全活動は一層重要となります。「里浜」が里浜であり続けるための真価が問われるのはこれからです

市民参加の活用と保全向け

1、2月にWS開催へ

条例の施行は来年4月から。一方では同じ時期に西海岸道路が開通を予定しています。沿線には巨大ショッピングセンターやリゾートホテルの建設も進みます。イノーの利用者が増えるのは確実。増える利用者への利活用及び保全活動のルールやマナー作りを急ぎ、啓発活動を取り組む必要があります。

ワークショップの第1回目は14



中学生の参加 過去最大規模
CGG活動通し地域の新たな力に

シリンカー川口近くの不法投棄ゴミを片づける港中の生徒たち(17日)

17年12月
第289号

日(日)午後1時から開催予定です。場所は浦添市のクリーンセンター(くるりんリサイクルプラザ)会議室。先の円卓会議でも確認され、市内外からの参加も期待されます。2月末までに延べ3回の議論を積み重ね、浦添市への提言取りまとめを目指しています。

今回の条例は里浜の理念が主な内容。次世代への「宝の海」として残せるかどうかは、これからの市民一人一人の行動にかかっているのです。

花木植や草刈りに汗流す

大好評でした！肉汁・餅つき

地域活動への参加の広がりを感じている行事です。学校は小・中学とも積極的な呼びかけを行い、生徒もそれに応えていました。企業のボラン

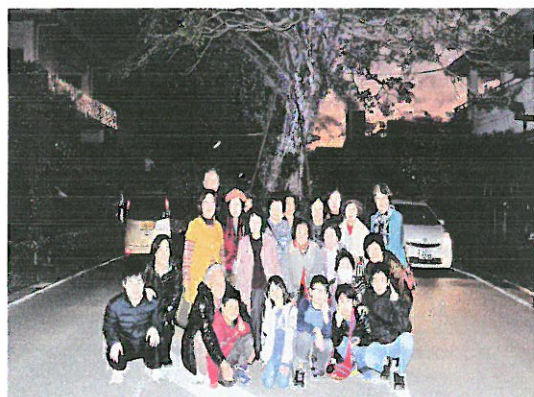
ティア参加(琉球開発)も続いています。緑地公園での餅つき交流も盛会でした。写真。小中学生の参加が多いためか用意した餅、肉汁はほぼ「完売」。参加の皆さんご苦労様でした。



年末の夜景楽しむ

華麗な電飾に感動

年内最後の行事となったイルミネーションツアーには小中学生から高齢者まで総勢26名が参加。写真。経塚は通り沿いの民家や街路樹など



飾りつけも大がかり。市内最大の名所でも、この日も多くの来訪者でにぎわっていました。福州園は庭園のラ

イトアップで、派手さはないがいかにも幻想的。参加者からは「昼間も見てみたい」との声も。次回で検討します。

「癒し」の名人だよネ!

今度は2年1組が訪問
ゲームや肩もみで交流



プログラムも進行も全て子ども達。すっかり者でかわいー2年生の訪問交流に参加の高齢者は声を揃えて「またおいでネ」心からの感謝の言葉でした(20日) 写真。

めぐりだきるときに閑話

区民の皆さんにはどんな1年でしたか?トランプ政権の誕生で世界的に力を背景にした「身勝手」な振る舞いが横行し、弱者への差別的行動も広がっていると感じた。国内では経済格差と貧困問題も深刻になっている。そんな時勢で、年末のせわしい中「里浜条例」が成立した。小さな自治会の活動でも行政を動かし、社会を変えていける実践事例として誇りを持って次代に伝えていきたい。助け合いの心と強い絆で厳しい世相を乗り越えていきましよう!

輝く新年を祈念します